



生活指導通信

No. 6

《学校生活の様子について》

中間考査、ほとんどの生徒の意識が高く、授業に向かう姿勢がよかったり、提出物の提出状況がよかったりと全体的によい雰囲気です。また考査に関する質問教室の利用状況も高かったように感じます。職員室に訪ねてくる生徒も多くいました。分からないものをそのままにしないという気持ちが見られました。現在、上柚木中学校が取り組んでいる授業研究の取組の一つとして上柚木学習スタンダードというものがあります。その中に日常的に様々な物事に興味・関心をもつ、「できたこと」「できなかったこと」「分かったこと」「分からなかったこと」を確認し、次の授業につなげようという項目があります。考査後も自分自身の課題と向き合い、やりっぱなし、それっきりにならないように指導していきます。



あいさつについて、ふだんあいさつができなかった生徒が1学期よりできるようにはなってきましたが、全体的にはまだまだです。あいさつ運動中は活発なあいさつが校内で聞こえてきましたが、あいさつ運動が終わると、徐々にあいさつをする雰囲気がなくなってきたように感じます。ふだんから相手のことを考え、自分からあいさつができるように引き続き指導をしていきます。ぜひご家庭でも「おはよう」「行ってきます」等、積極的なあいさつをしていただければ幸いです。

《自転車利用時の注意について》

9月21日(日)から9月30日(火)の10日間を期間とする秋の全国交通安全運動が始まりました。本校で自転車乗用中の命に関わる重大事案は発生していませんが、単独で事故に遭った、けがをしたという報告は何件ありました。安全指導で自転車利用時の指導(自転車利用5則 警視庁)をしています。ご家庭でも今一度、自転車利用についてくれぐれも注意をして乗るようにお願いします。

〈自転車利用5則〉

- ① 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用



※併せて2026年4月1日よりイヤホン装着での運転、一時不停止、二人乗り等に対する罰則が科せられます。16歳以上が対象ですが気を引き締めて運転を心がけてください。

世界陸上を終えて

9日間の世界陸上2025が閉幕しました。数々のドラマがありましたが、涙を流す選手、喜びを爆発させる選手、自己新記録を更新した選手等、様々な場面で心を打たれました。私が特に印象に残ったのは3000m障害です。レース中に三浦選手と他国の選手が接触して、大きく順位を落とすことができました。日本側は協会を通して抗議をしましたが、判定は覆りませんでした。その後の三浦龍司選手がインタビューで話した内容が生徒のためになると思ったので紹介させていただきます。「陸上は勝ち負けが分かりやすい。ごまかしのない成果がモチベーション」と話していました。悪いもの、しょうがないことに目を向けるより、それをバネにまた頑張ればよいという姿勢に感動しました。学校生活では、点数や順位だけでは測れない努力があります。ごまかしのきかない「日々の姿勢」こそ、子どもたちの未来の力になります。ご家庭でも結果だけでなく、そこに至るまでの取り組みや努力を認めていただけると、子どもたちの励みになると思いますので、様々な声掛けをお願いします。